

アイモビーグを自己投与される患者さんへ

『アイモビーグ皮下注70mgペン』

# 自己投与のための 使い方ハンドブック

監修

富永病院 副院長／富永クリニック 院長

竹島 多賀夫 先生



# 目次

はじめに .....	3
『アイモビーグ70mgペン』について .....	4
保管方法 .....	5
自己投与の方法	
【ステップ1】投与の前に .....	6
【ステップ2】投与の準備 .....	10
【ステップ3】投与する .....	12
【ステップ4】終了 .....	16
よくある質問 .....	18

『アイモビーグ皮下注70mgペン』の  
自己投与の方法を、  
動画でわかりやすく解説しています。



<https://aimovig-pts.jp/about/self-injection>

**アイモビーグ.jp (患者さん向け)**  
アイモビーグによる治療を受ける患者さん向け情報サイト



# はじめに

『アイモビーグ皮下注70mgペン（以下、アイモビーグ70mgペン）』は、片頭痛発作の発症を抑制するためのお薬です。

**4週間に1回1本を皮下投与**します。

## ！ ご注意

- はじめて自己投与される方は、**必ず主治医などから、適切な指導を受けてください。**
- 自己投与がうまく行えなかったり、わからないことがある場合には、主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。

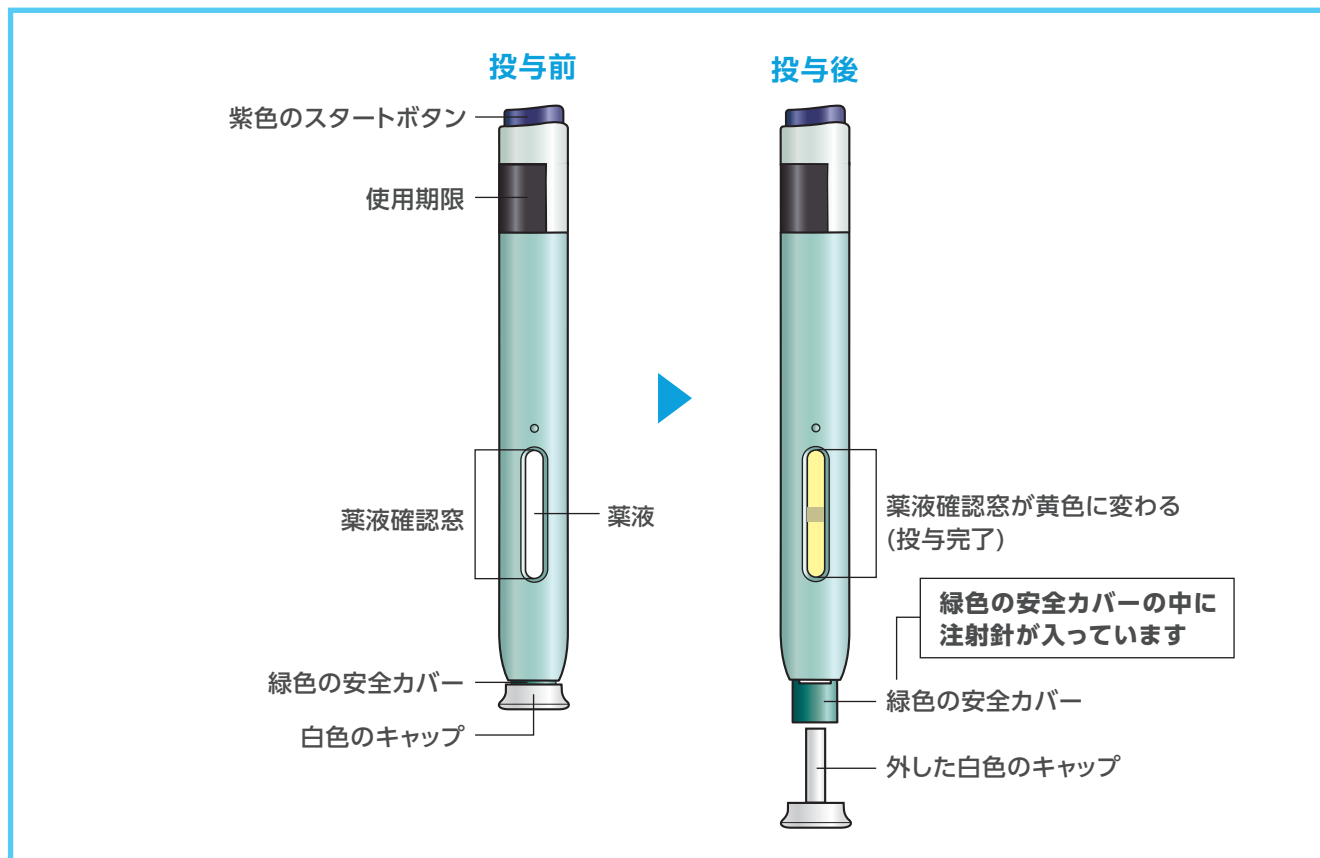


# 『アイモビーグ70mgペン』について

アイモビーグ70mgペンは、**1箱に1本**入っています。

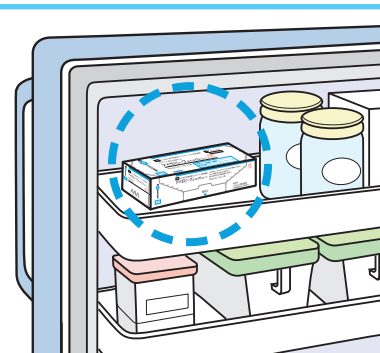
**1回使い切り・使い捨て**の皮下注射薬です。ボタンを押すと自動的に投与することができます。

## ● 各部の名称



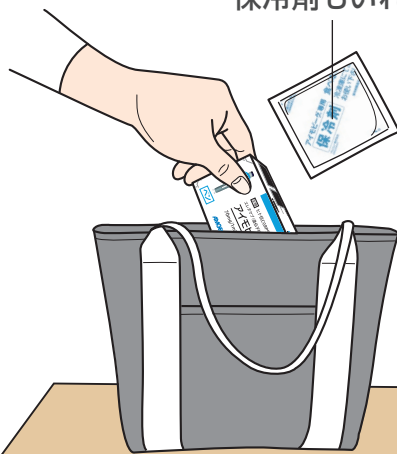
# 保管方法

- 冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管し、**凍結させない**でください。  
凍結した場合は**使用しない**でください。
- 冷凍庫など凍結する危険性のあるところは避けて、冷蔵庫のドアポケットなど、冷気に直接触れないところに保管してください。
- **外箱に入れたまま保管**し、光や衝撃を受けないようにしてください。



- 持ち運びには**保冷バッグ**などを利用してください。

保冷剤もいれる

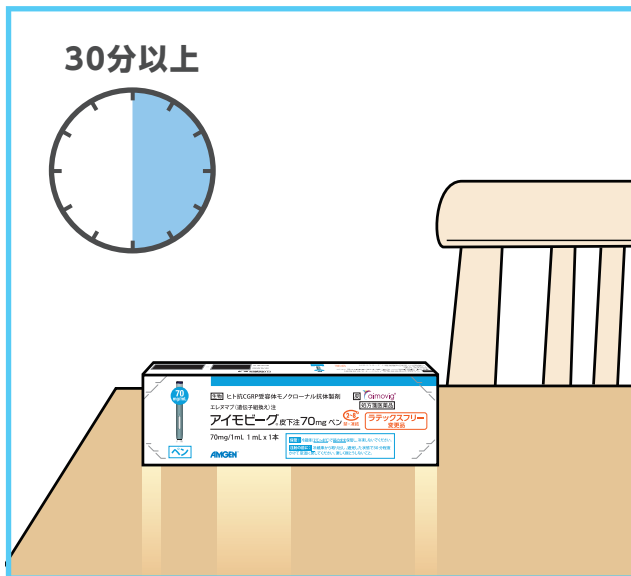


## ！ 保管の注意点

- アイモビーグ70mgペンと専用廃棄袋（廃棄用容器）は、**お子様の手の届かない**ところに保管してください。
- 冷蔵庫から取り出した後は、**30℃を超えない**場所で箱から出さずに保管し、**7日以内**に使用してください。
- 2～8℃の条件で保管できない場合（処方後の帰路など）は、**温度が極端に高い場所や低い場所**で保管しないでください。  
例えば、車のダッシュボードやトランクでの保管は避けてください。
- **硬いところに落とした**場合は**使用しない**でください。  
ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。  
新しいアイモビーグ70mgペンを使用してください。

# 自己投与の方法【ステップ1】投与の前に

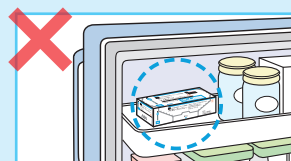
## 1 外箱のまま冷蔵庫から取り出し、30分以上待つ



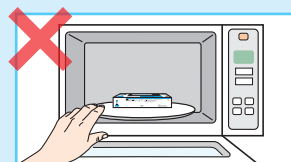
アイモビーグ70mgペンの外箱を  
冷蔵庫から取り出し、  
**外箱のまま30分以上かけて、室温に戻します\***。

※ 投与部位の不快感を最小限にするためにも室温に戻すことが重要です。また、室温に戻さないと投与に時間がかかることがあります。

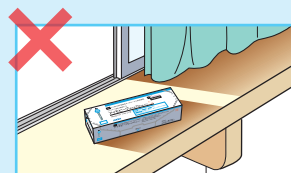
### ！ ご注意



一度室温に戻したら、  
冷蔵庫に戻さない

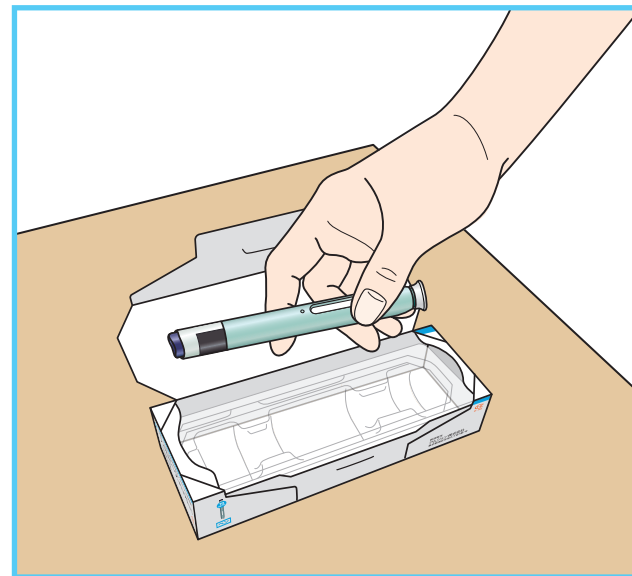


お湯や電子レンジを  
使って温めない



直射日光に  
当たらない

## 2 外箱から取り出す



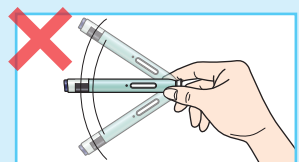
外箱を開けてアイモビーグ70mgペンを  
**そっと静かにまっすぐ持ち上げ、**  
外箱から取り出します。

### 3 | 点検する(薬液と使用期限を確認する)

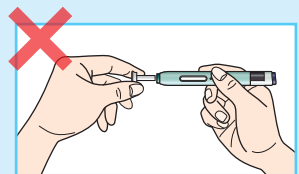
#### ! ご注意



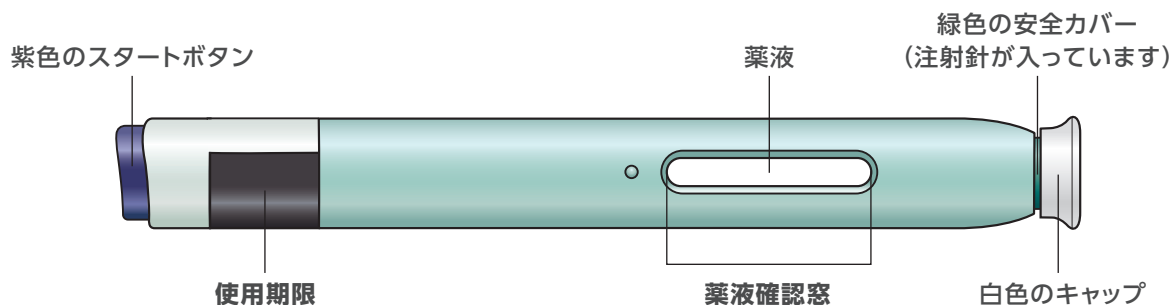
手を石鹸で洗っておく



ペンを振らない



白色のキャップはまだ外さない



使用期限を過ぎていたら  
使用しないでください。

次の点を確認してください。  
● 透明である  
● 無色または、わずかに黄色である

#### ! 次の場合には使用しないでください。

- 薬液が濁っている、変色している、あるいは塊や粒子が入っている場合
- アイモビーグ70mgペンにひびが入っている、割れているところがある場合
- 誤って硬いところにアイモビーグ70mgペンを落とした場合
- 白色のキャップが抜けていたり、しっかりと取りつけられていない場合

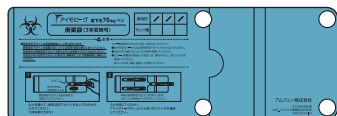
# 自己投与の方法【ステップ1】投与の前に

## 4 投与に必要なものを用意する

### ● 医療機関から渡されるもの※



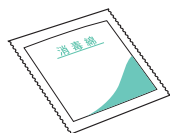
アイモビーグ70mgペン



専用廃棄袋(廃棄用容器)

※ 渡されるものは医療機関によって異なります。

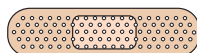
### ● その他用意するもの



消毒薬



綿球または  
滅菌ガーゼ



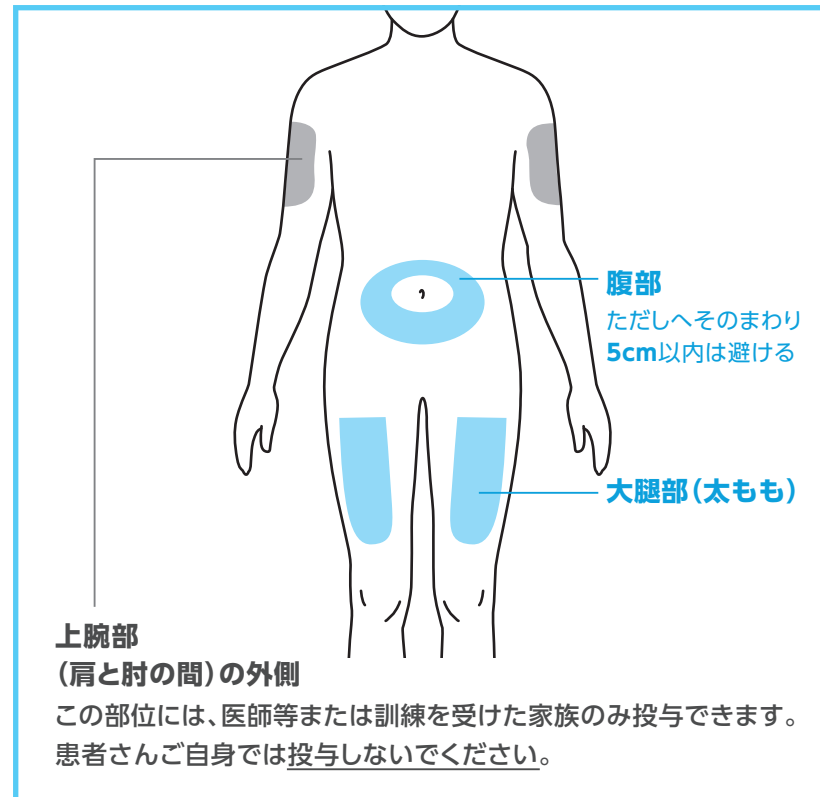
絆創膏

(必要に応じて)

清潔で明るく平らな場所に並べてください。

## 5 投与する部位を決める

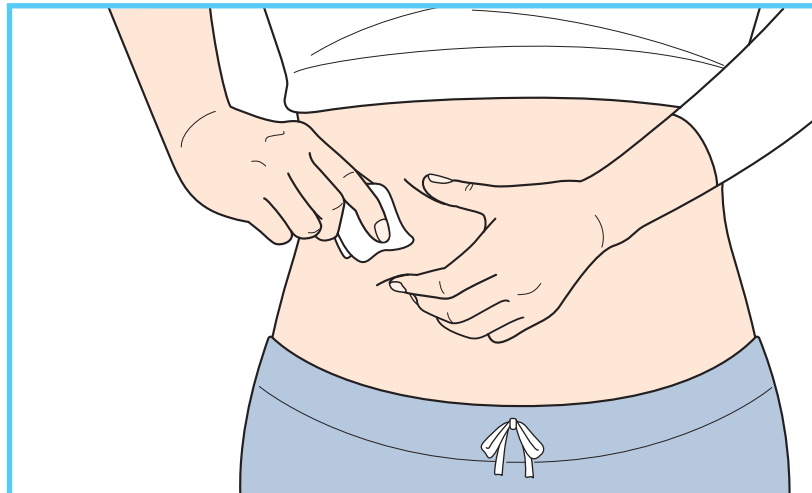
### ● 投与できる部位



投与する部位を決めます。



## 6 | 消毒する



投与する部位を消毒して、皮膚を乾かします。

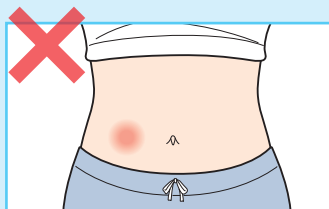
**!** 消毒した後は、投与部位に触れないでください。

**!** 同じ箇所に戻り投与しないでください。  
同じ部位に投与する場合には、前回と同じところは避ける

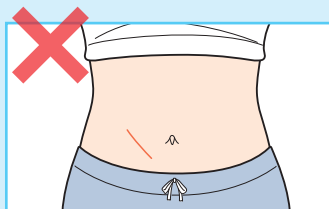
**!** 次のところには投与しないでください。

- 皮膚が敏感なところ
- 挫傷<sup>ざしやう</sup>、発赤<sup>ほっせき</sup>、硬結<sup>こうけつ</sup>\*している部位
- 皮膚が盛り上がっている、厚くなっている部位
- うろこ状になった部位
- 傷跡や妊娠線のあるところ

\* 挫傷: 打撲などで皮下組織が傷ついている  
発赤: 皮膚が赤くなっている  
硬結: 硬くなっている



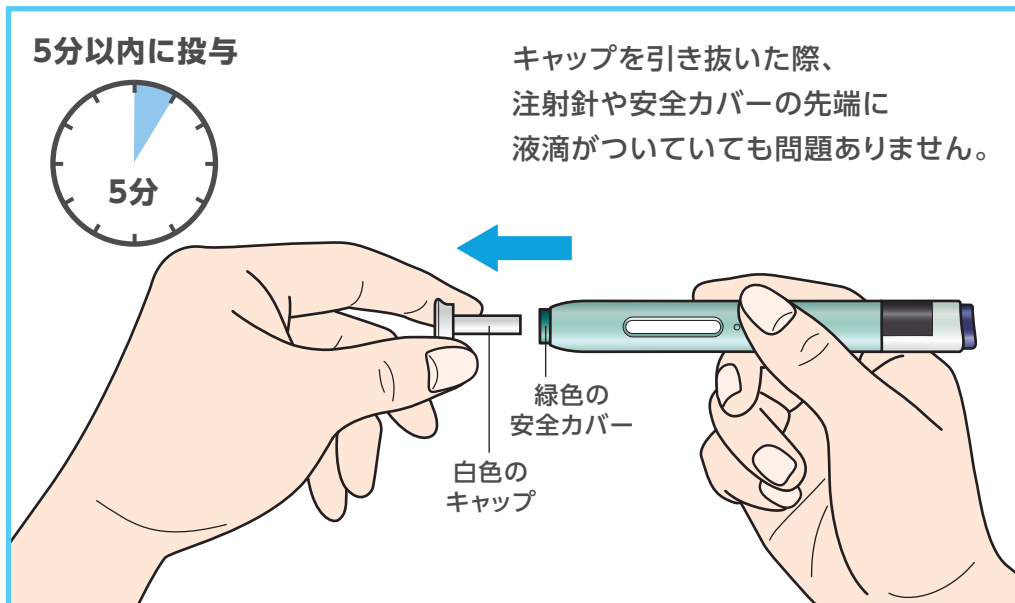
何らかの異常があるところ



傷跡や妊娠線があるところ

# 自己投与の方法【ステップ2】投与の準備

## 1 白色のキャップを引き抜き、5分以内に投与する



### ！ ご注意

- キャップをねじったり、曲げたり、小刻みに揺らしたりしない
- 一度外したキャップは元に戻さない
- 安全カバーに指を入れない

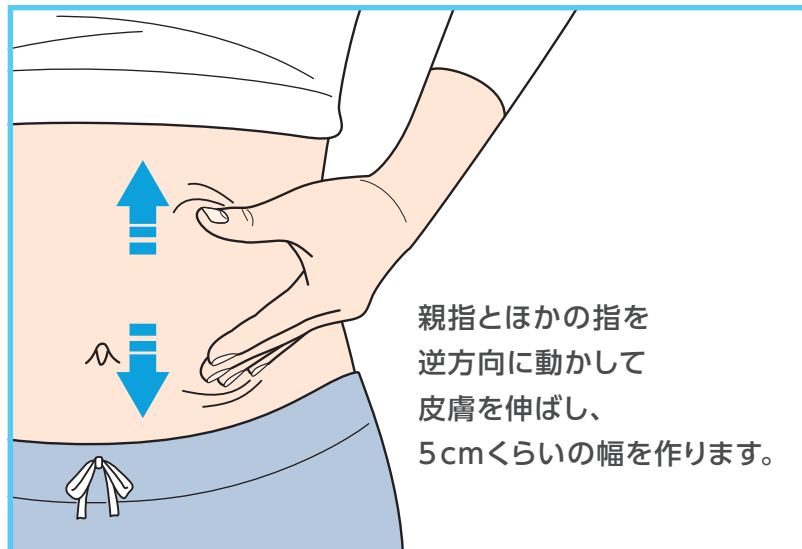
アイモビーグ70mgペンを持ち、白色のキャップをまっすぐに引き抜きます。

**キャップを外したら5分以内に投与してください。**それ以上放置すると、針内の薬液が乾き投与できないことがあります。

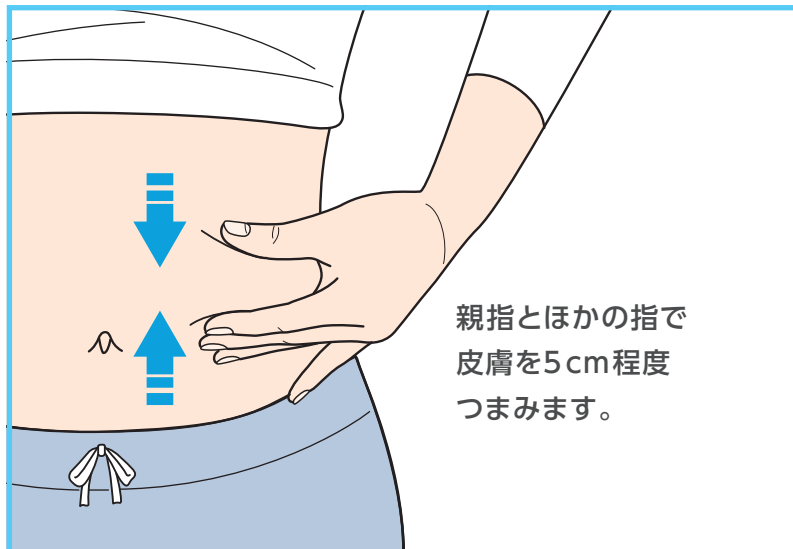
(実際の投与手順はp.12～15をご参照ください。)

## 2 | 投与する部位を引き伸ばすか、またはつまむ

### ● 引き伸ばす方法



### ● つまむ方法



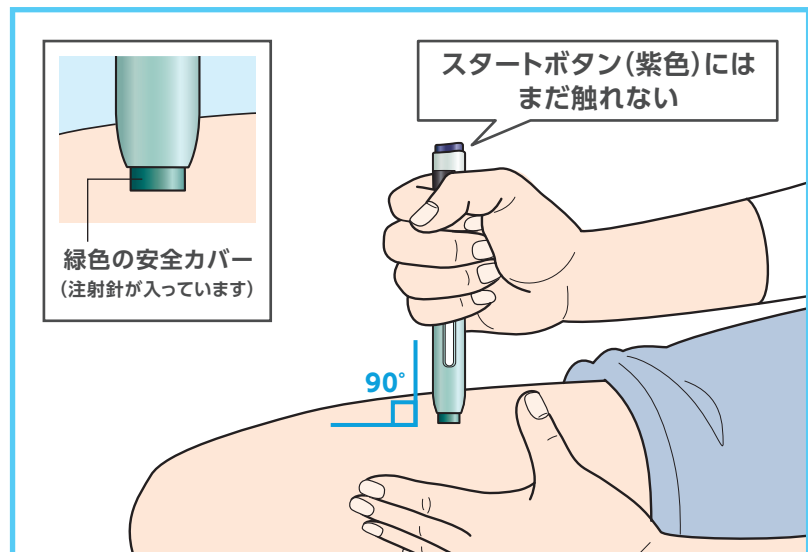
投与する部位を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。

**!** 投与中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにしてください。

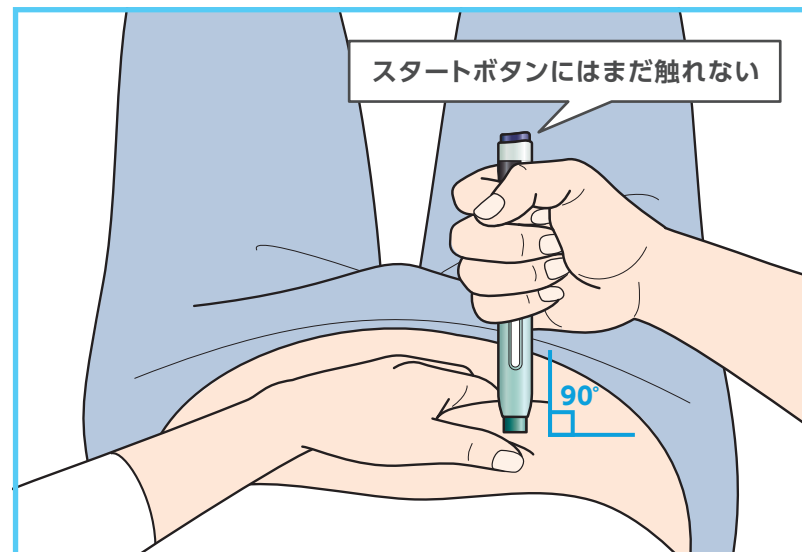
# 自己投与の方法【ステップ3】投与する

## 1 投与部位に直角にあてる

### ● 太ももの場合



### ● 腹部の場合



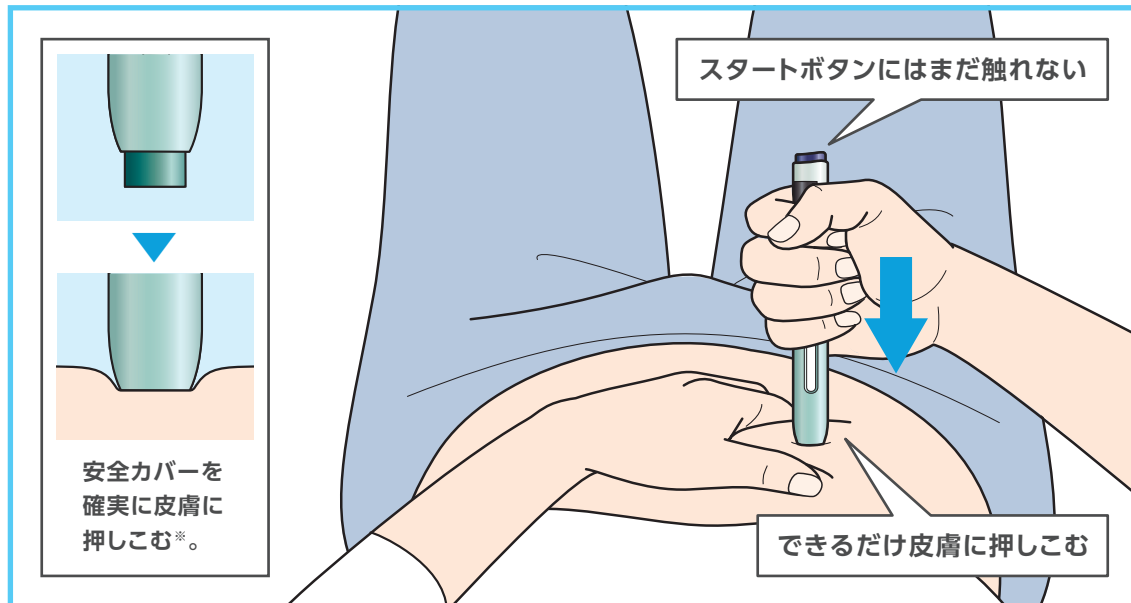
皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだまま、

白色のキャップを外したアイモビグ70mgペンを薬液確認窓が見えるように持って、投与部位に直角にあてます。

緑色の安全カバーの中に注射針が入っています。

まだ紫色のスタートボタンには触れないでください。

## 2 | 皮膚に押しこむ

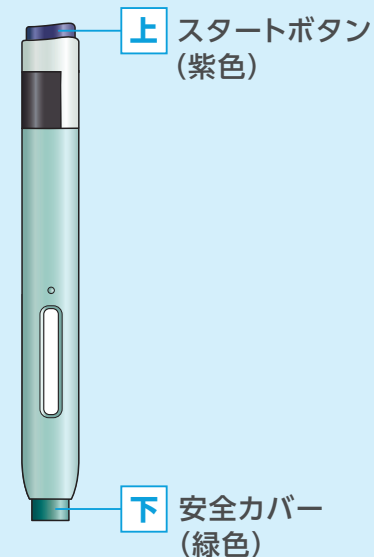


アイモビーグ70mgペンが、動かなくなるまでしっかりと皮膚に押しこみます。

- ！ できるだけ皮膚に押しこんでください。  
投与の準備ができるまで紫色のスタートボタンには触れないでください。

※安全カバーを最後まで押しこまないとボタンが押せない(薬液が出ない)設計になっています。

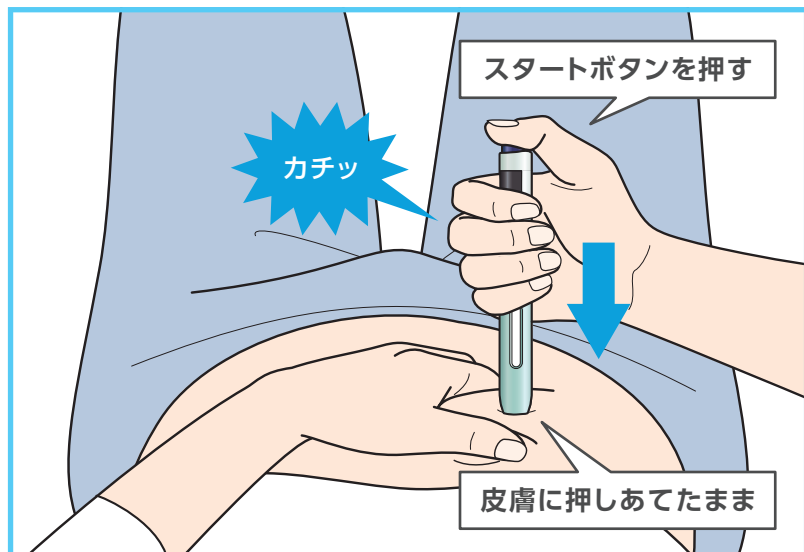
- ！ 指に針を刺さないように  
ペンの方向を  
必ず確認してください。



# 自己投与の方法【ステップ3】投与する

## 3 | 紫色のスタートボタンを押す

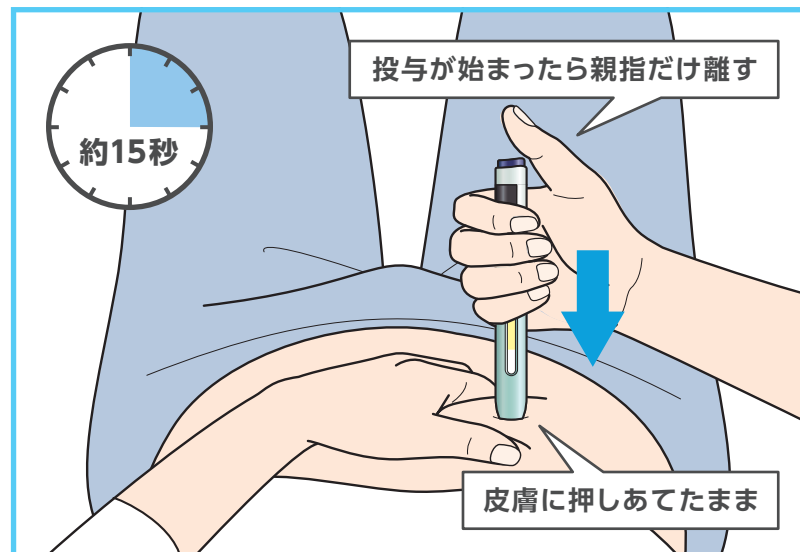
### ● 投与開始



投与の準備ができたなら、  
**紫色のスタートボタンを押します。**  
「カチッ」という音がします。

## 4 | そのまま約15秒間待つ

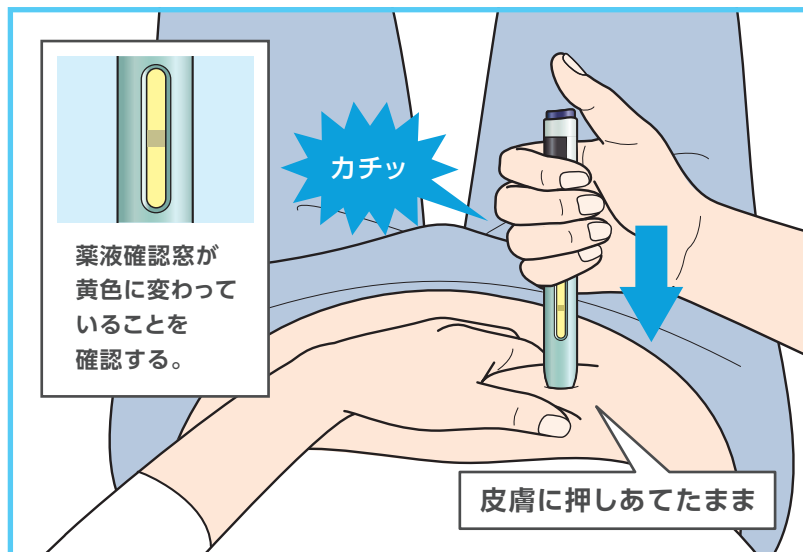
### ● 薬液注入中



**皮膚に押しあてたまま、親指だけ離します。**  
(ボタンを押したままでも問題ありません。)  
そのまま**約15秒間**待ってください。  
投与は約15秒で終わります。

## 5 薬液確認窓が黄色に変わる

### ● 投与終了



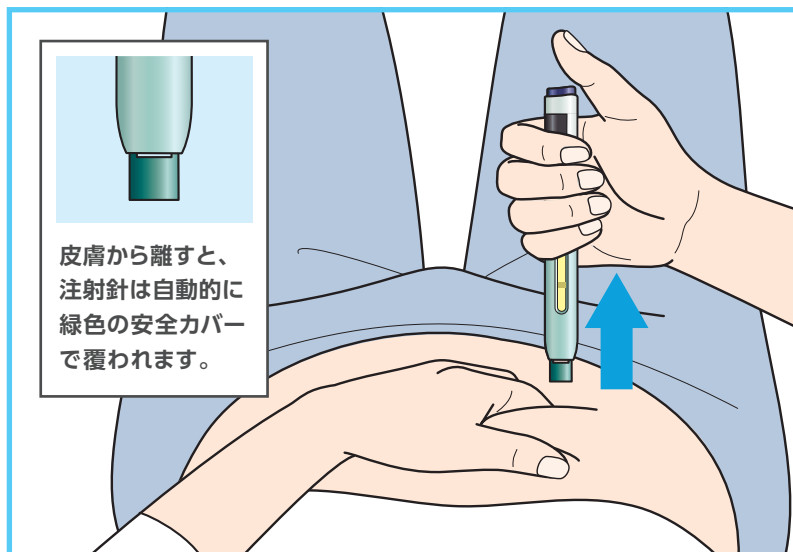
投与が終了すると、薬液確認窓が黄色に変わります。

投与終了時の「カチッ」という音が聞こえない場合もありますが、薬液確認窓が黄色に変わっていれば投与終了です。

**!** 薬液確認窓の色が黄色に変わらない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が投与できていない可能性があります。すぐに主治医にご相談ください。

## 6 皮膚から離す

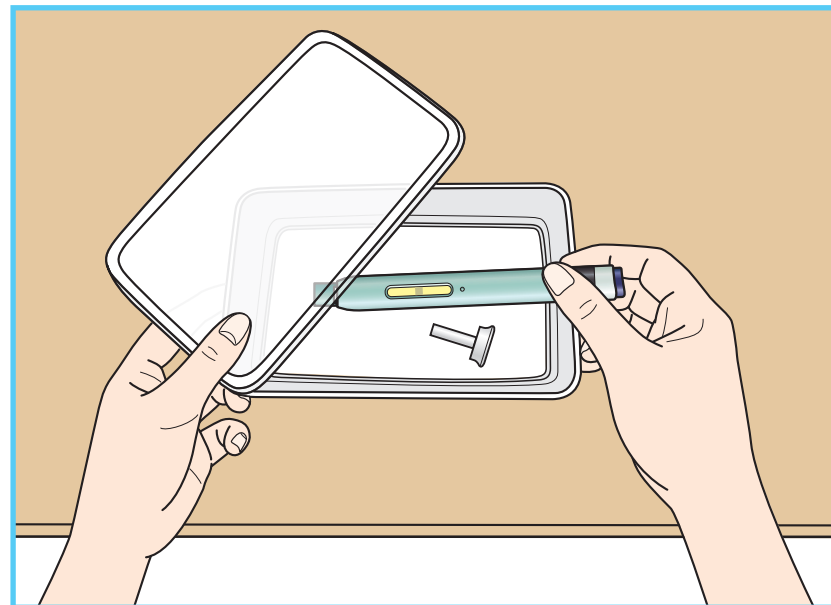
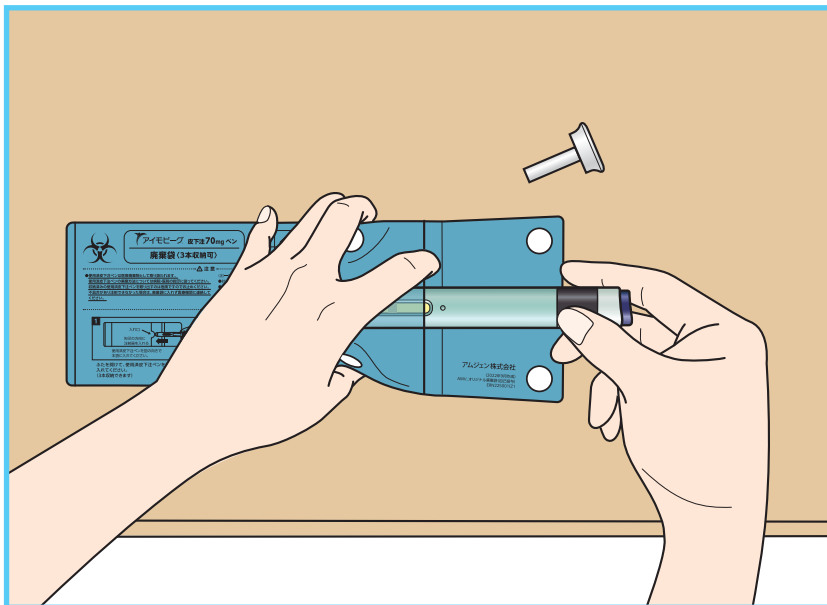
### ● 皮膚から離す



アイモビーグ70mgペンを皮膚から離します。

# 自己投与の方法【ステップ4】終了

## 1 アイモビーグ70mgペンと白色のキャップを捨てる



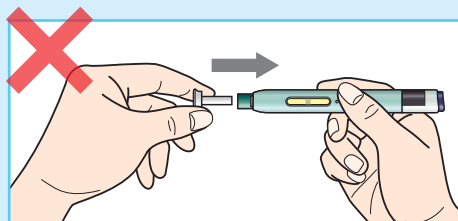
使用済みのアイモビーグ70mgペンと白色のキャップは、  
使用後すぐに専用廃棄袋か廃棄用容器（プラスチック製の密閉容器など）に捨ててください。  
**家庭ゴミには捨てずに、医療廃棄物として適切に廃棄してください。**  
**正しい廃棄方法については、医療従事者の指示に必ず従ってください。**



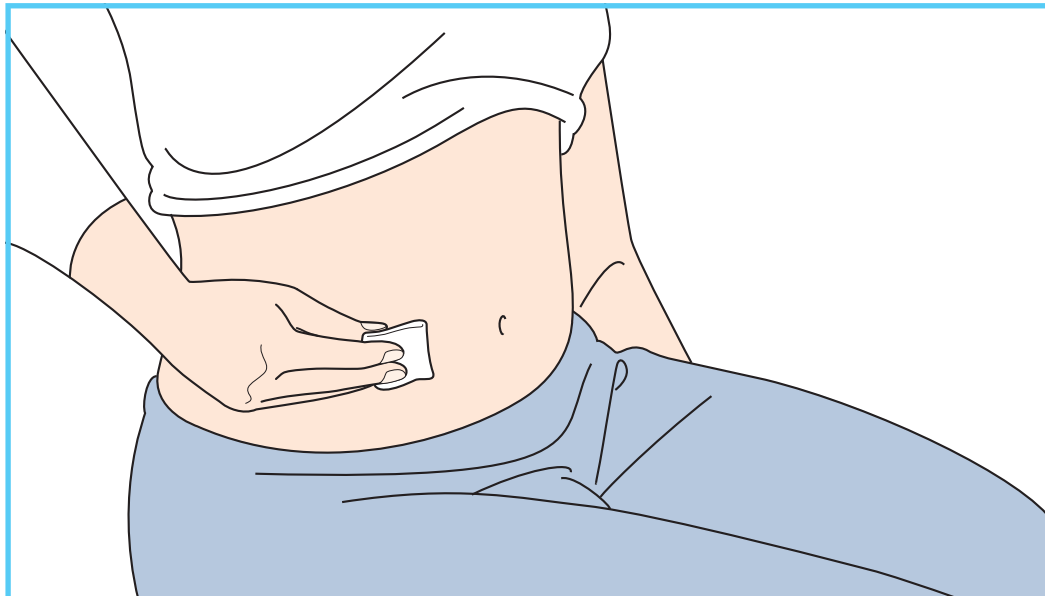
## 2 | 投与した部位を確認する

### ！ ご注意

- アイモビーグ70mgペンと専用廃棄袋(廃棄用容器)を**再使用しない**
- 外したキャップを**戻さない**
- 緑色の安全カバーに**指を入れない**



外したキャップを戻さない



出血していたら、投与した部位を綿球または滅菌ガーゼで押さえて、止血してください。

必要に応じて絆創膏を貼ってください。

投与した部位を**もんだりこすったりしないでください。**

## よくある質問

**Q** なぜ室温に戻す必要があるのですか？

**A** 冷たい温度のまま投与すると、**投与部位に不快感を生じることがあります。**  
それを防ぐために室温に戻してからの投与を推奨しています。

**Q** 一度外した白色のキャップを元に戻してはいけない理由を教えてください。

**A** 白色のキャップを元に戻すことで、**中の針が曲がってしまう可能性**があります。  
また、誤って**針が刺さるおそれ**がありますので、白色のキャップは元に戻さずに捨ててください。

**Q** 投与部位に押しあてる前に紫色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？

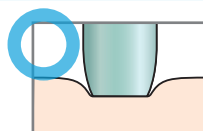
**A** 紫色のスタートボタンを押しても、**緑色の安全カバーが押しこまれていなければ、投与は始まりません。**  
紫色のスタートボタンから指を離して、やり直してください。

**Q** 緑色の安全カバーを皮膚に押しこんでしまった後で、投与する部位を変更したい場合はどうしたらよいですか？

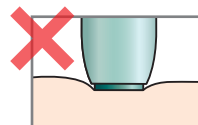
**A** 紫色のスタートボタンを押さなければ投与は始まりませんので、**アイモビーグ70mgペンを皮膚から離してやり直してください。**

**Q** 紫色のスタートボタンが押せない場合は、どうしたらよいですか？

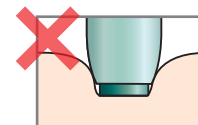
**A** **緑色の安全カバーをしっかりと皮膚へ押しこみ、再度スタートボタンを押し直してください。**



緑色の安全カバーが  
完全に押しこまれている



安全カバーが見えていて、  
スタートボタンが押せない  
⇒ 見えなくなるまで押しこむ



安全カバーは見えないのに、  
スタートボタンが押せない  
⇒ 皮膚を平らにする

**Q** 紫色のスタートボタンを押して投与が始まったら、スタートボタンから親指を離してもよいですか？

**A** 投与が始まった後、**紫色のスタートボタンから親指を離しても、離さなくても問題ありません。**  
ただし、アイモビーグ70mgペンは、投与が終わるまでしっかりと皮膚に押しあてたままにしてください。

**Q** 親指を離すと紫色のスタートボタンは出てきますか？

**A** はい。ただし、**投与中に親指で押していた場合は、親指を離しても紫色のスタートボタンが出てこないことがあります**が、問題ありません。

**Q** アイモビーグ70mgペンを約15秒間皮膚に押しあてても、2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？

**A** 投与終了時に2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合でも、**薬液確認窓が黄色に変わっていれば、投与が終了している**ので問題ありません。**薬液確認窓が黄色に変わっていない場合は、すぐに主治医にご相談ください。**

**Q** 予定日に投与を忘れてしまいました。どうしたらよいですか？

**A** **必ず主治医に連絡し、いつ投与したらよいか指示を受けてください。**

**Q** アイモビーグ70mgペンや投与について質問がある場合にはどこに問い合わせればよいですか？

**A** 主治医にご相談いただくか、  
下記のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先（患者さん、一般の方向け）  
メディカルインフォメーションセンター  
電話番号：**0120-952-206**  
受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日を除く）

また、『アイモビーグ.jp（患者さん向け）』サイトにも、よくある質問をまとめています。

**アイモビーグ.jp**（患者さん向け）

「よくある質問」

<https://aimovig-pts.jp/faq>



『アイモビーグ皮下注70mgペン』の  
自己投与の方法を、  
動画でわかりやすく解説しています。

アイモビーグ.jp (患者さん向け)

アイモビーグによる治療を受ける患者さん向け情報サイト



<https://aimovig-pts.jp/about/self-injection>

お問い合わせ先  
(患者さん、一般の方向け)

メディカルインフォメーションセンター

電話番号：0120-952-206

受付時間：9時～17時30分(土、日、祝日、会社休日を除く)

アムジェン株式会社